



## 2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月7日

上場会社名 クラボウ(倉敷紡績株式会社)  
 コード番号 3106 URL <https://www.kurabo.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員財務部長  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月12日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 (氏名) 藤田 晴哉  
 (氏名) 藤井 裕詞  
 TEL 06-6266-5136

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	26,930	△21.3	327	12.6	697	△9.0	△189	—
2020年3月期第1四半期	34,221	△7.0	291	△53.9	766	△7.7	1,098	7.5

(注)包括利益 2021年3月期第1四半期 53百万円 (—%) 2020年3月期第1四半期 △278百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	△9.22	—
2020年3月期第1四半期	51.27	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	160,768	89,195	54.7
2020年3月期	165,542	90,383	53.7

(参考)自己資本 2021年3月期第1四半期 87,900百万円 2020年3月期 88,978百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	60.00	60.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	0.00	—	60.00	60.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	128,000	△10.4	3,000	△33.9	3,600	△34.4	2,000	△46.4	97.16

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期1Q	22,356,228 株	2020年3月期	22,356,228 株
------------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2021年3月期1Q	1,771,308 株	2020年3月期	1,771,145 株
------------	-------------	----------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期1Q	20,585,023 株	2020年3月期1Q	21,422,596 株
------------	--------------	------------	--------------

(注)当社は、前第2四半期連結会計期間より、取締役等に対し、信託を用いた株式報酬制度「株式交付信託」を導入しており、当該信託口が保有する当社株式を自己株式に含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(追加情報) .....	8
(セグメント情報) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2020年4月1日～2020年6月30日）におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大により緊急事態宣言が発出され、様々な自粛や制限に伴い経済・社会活動が停滞し、景気はかつてないきびしい状況で推移しました。

このような環境下にあつて当社グループは、従業員やステークホルダーの皆様の安全・健康を最優先として新型コロナウイルスの感染拡大の防止、事業活動・生産活動への影響の最小化に努めるとともに、2年目を迎えた中期経営計画「Creation'21」の達成に向け尽力しましたが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響は大きく、当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は269億円（前年同期比21.3%減）、営業利益は3億2千万円（同12.6%増）、経常利益は6億9千万円（同9.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純損失は1億8千万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益10億9千万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### (繊維事業)

原糸分野及びカジュアル分野は、新型コロナウイルスの感染拡大による取引先の店舗休業や、個人消費の低迷の影響を受けて、受注が減少し、減収となりました。

ユニフォーム分野は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けた建設業及び製造業向けユニフォームの販売不振により、受注が減少し、減収となりました。

海外子会社は、インドネシアは原糸販売が増加しましたが、ブラジルやタイの受注が減少したことにより、減収となりました。

なお、抗菌・抗ウイルス機能素材の引き合いは増加しました。

この結果、売上高は101億円（前年同期比23.0%減）、営業損失は4億9千万円（前年同期は営業損失5億9千万円）となりました。

#### (化成品事業)

自動車分野は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う自動車メーカーの操業停止などの影響を受けて、国内外ともに受注が減少し、減収となりました。

機能樹脂分野は、半導体製造向け樹脂加工品は順調に推移しましたが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う各種イベントの自粛によりクリアファイル用フィルムなどが低調で、減収となりました。

住宅建材分野は、2019年10月の消費税率引き上げや、新型コロナウイルスの感染拡大による新設住宅着工戸数の低迷の影響を受けて、減収となりました。

この結果、売上高は104億円（前年同期比22.2%減）、営業損失2千万円（前年同期は営業利益0百万円）となりました。

なお、自動車内装材用のフィルムを基材に応用した医療用ガウンを開発し、2020年7月から製品及び基材の販売を開始しております。

#### (環境メカトロニクス事業)

エレクトロニクス分野は、コンピュータ・カラーマッチング・システムや膜厚計は堅調に推移しましたが、新型コロナウイルスの感染拡大による国内外の全般的な営業活動の停滞により、減収となりました。

エンジニアリング分野は、排ガス処理関係の環境装置が堅調でしたが、プラント関係の大型案件が少なく、減収となりました。

バイオメディカル分野は、核酸自動分離装置が堅調に推移し、また2020年3月より販売を開始した新型コロナウイルス抗体検査試薬キットも好調で、増収となりました。

工作機械分野は、国内では設備投資が低調で、販売不振となり、また、海外では新型コロナウイルスの感染拡大に伴うロックダウンの影響により、北米及び中国で販売が減少し、減収となりました。

この結果、売上高は33億円（前年同期比23.1%減）、営業利益は2億6千万円（同2.0%増）となりました。

#### (食品・サービス事業)

食品分野は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う全国一斉休校や、外出自粛の要請の影響を受けた内食需要の高まりにより成型スープやシリアル向けフリーズドライフルーツの販売が増加し、増収となりました。

ホテル分野は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けて、宴会及び宿泊のキャンセルが相次ぎ、また、2020年5月8日から5月31日までの間、ホテル全館の臨時休業を行ったことなどにより、減収となりました。

この結果、売上高は18億円（前年同期比16.2%減）、営業利益は1千万円（同91.4%減）となりました。

(不動産事業)

賃貸事業の推進に注力した結果、売上高は11億円（前年同期比8.2%増）、営業利益は8億円（同13.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、投資有価証券やたな卸資産は増加しましたが、売上債権が減少したことなどにより、1,607億円と前連結会計年度末に比べ47億円減少しました。

負債は、短期借入金が増加しましたが、仕入債務が減少したことなどにより、715億円と前連結会計年度末に比べ35億円減少しました。

純資産は、その他有価証券評価差額金は増加しましたが、利益剰余金や為替換算調整勘定が減少したことなどにより、891億円と前連結会計年度末に比べ11億円減少しました。

以上の結果、自己資本比率は1.0ポイント上昇して54.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染拡大が当社グループに与える影響について、合理的に算定することが困難なことから未定としておりましたが、現時点において入手可能な情報や予想等に基づき算定いたしました。

詳細につきましては、本日（2020年8月7日）公表いたしました「2021年3月期業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご参照ください。

(連結業績予想)

(単位：百万円)

	2020年3月期 (A)	2021年3月期 (B)	増減額 (B-A)	増減率 (%)
売上高	142,926	128,000	△14,926	△10.4
営業利益	4,541	3,000	△1,541	△33.9
経常利益	5,485	3,600	△1,885	△34.4
親会社に帰属する 当期純利益	3,731	2,000	△1,731	△46.4

(セグメント別売上高・営業利益予想)

(単位：百万円)

	売上高			営業利益又は営業損失 (△)		
	2020年3月期 (A)	2021年3月期 (B)	増減額 (B-A)	2020年3月期 (C)	2021年3月期 (D)	増減額 (D-C)
繊維事業	51,555	44,000	△7,555	△1,701	△1,600	101
化成品事業	55,785	50,000	△5,785	972	1,000	28
環境メカトロニクス 事業	21,846	21,000	△846	2,781	1,700	△1,081
食品・サービス 事業	9,416	9,000	△416	622	300	△322
不動産事業	4,321	4,000	△321	3,002	2,700	△302
消去又は全社	—	—	—	△1,136	△1,100	36
合計	142,926	128,000	△14,926	4,541	3,000	△1,541

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	18,808	19,050
受取手形及び売掛金	33,441	26,178
有価証券	607	605
商品及び製品	11,016	11,660
仕掛品	6,906	8,045
原材料及び貯蔵品	4,500	4,490
その他	2,252	1,786
貸倒引当金	△49	△47
流動資産合計	77,483	71,768
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	24,816	24,413
その他（純額）	27,504	27,173
有形固定資産合計	52,320	51,586
無形固定資産	1,233	1,278
投資その他の資産		
投資有価証券	30,709	32,485
その他	4,231	4,016
貸倒引当金	△436	△366
投資その他の資産合計	34,503	36,134
固定資産合計	88,058	88,999
資産合計	165,542	160,768
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,030	16,125
短期借入金	18,707	19,890
未払法人税等	838	439
賞与引当金	1,431	541
その他	8,057	8,805
流動負債合計	48,066	45,801
固定負債		
長期借入金	2,267	2,231
役員退職慰労引当金	115	94
株式報酬引当金	19	28
退職給付に係る負債	12,858	12,651
その他	11,830	10,766
固定負債合計	27,092	25,772
負債合計	75,158	71,573

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	22,040	22,040
資本剰余金	15,254	15,254
利益剰余金	57,622	56,191
自己株式	△4,227	△4,227
株主資本合計	90,689	89,258
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,061	8,351
繰延ヘッジ損益	14	12
為替換算調整勘定	△8,112	△9,075
退職給付に係る調整累計額	△675	△645
その他の包括利益累計額合計	△1,711	△1,357
非支配株主持分	1,405	1,294
純資産合計	90,383	89,195
負債純資産合計	165,542	160,768

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	34,221	26,930
売上原価	28,667	22,013
売上総利益	5,554	4,916
販売費及び一般管理費	5,263	4,588
営業利益	291	327
営業外収益		
受取利息	6	4
受取配当金	516	486
その他	135	71
営業外収益合計	658	562
営業外費用		
支払利息	87	64
持分法による投資損失	9	3
その他	87	125
営業外費用合計	183	192
経常利益	766	697
特別利益		
固定資産売却益	—	23
補助金収入	—	10
退職給付制度改定益	750	—
特別利益合計	750	34
特別損失		
操業休止関連費用	—	252
事業構造改善費用	—	175
関係会社株式評価損	—	52
固定資産処分損	—	3
特別損失合計	—	484
税金等調整前四半期純利益	1,516	247
法人税等	523	455
四半期純利益又は四半期純損失(△)	992	△208
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△105	△18
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	1,098	△189



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	992	△208
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,435	1,290
繰延ヘッジ損益	△27	△2
為替換算調整勘定	173	△1,012
退職給付に係る調整額	6	29
持分法適用会社に対する持分相当額	12	△43
その他の包括利益合計	△1,271	261
四半期包括利益	△278	53
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△252	164
非支配株主に係る四半期包括利益	△26	△111

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染拡大の影響に関する仮定)

前事業年度の有価証券報告書の追加情報に記載した新型コロナウイルス感染拡大の影響に関する仮定について、重要な変更はありません。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	繊維事業	化成品 事業	環境メカ トロニク ス事業	食品・サー ビス事業	不動産 事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	13,169	13,453	4,376	2,202	1,019	34,221	—	34,221
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	8	10	24	12	104	159	△159	—
計	13,178	13,463	4,400	2,214	1,123	34,380	△159	34,221
セグメント利益 又は損失(△)	△591	0	262	156	711	539	△248	291

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△248百万円には、全社費用△248百万円及びその他の調整額0百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない研究開発費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	繊維事業	化成品 事業	環境メカ トロニク ス事業	食品・サー ビス事業	不動産 事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	10,145	10,472	3,364	1,844	1,103	26,930	—	26,930
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	12	3	121	10	113	262	△262	—
計	10,157	10,475	3,486	1,855	1,216	27,192	△262	26,930
セグメント利益 又は損失(△)	△490	△20	268	13	809	579	△251	327

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△251百万円には、全社費用△252百万円及びその他の調整額0百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない研究開発費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。